

10月3日 松川村すずの音ホール研修室・松川村図書館

中信地区

「中信地区図書館教育研究大会を終えて」

大北支部代表 白馬村立白馬南小学校 裴輪 勝枝

1 研究テーマ

「学びと心のよりどころとなる学校図書館のあり方

～学校内外の連携による読書・学習、情報センター機能の構築を目指して～」

2 事例発表・情報交換会

・大北支部 松川中学校図書館実践報告～ようこそ松川中学校～

松川中学校 原 巳奈子 司書

・情報交換会 グループに分かれて各校の取り組みを紹介



3 講演会

講 師 棟田 聖子 館長（松川村図書館）

「学びと心のよりどころとなる学校図書館のあり方

～学校内外の連携による読書・学習、情報センター機能の構築を目指して～」



4 参加人数 小学校10名 中学校6名 計16名

5 まとめ

【松川中学校事例発表】

中学校での図書館活用が読書活動につながっている点が参考になった。

松川中図書館・松川村の事例では、図書委員や生徒の主体的な活動が印象的で、図書館司書の関わりの可能性も感じられた。図書館環境の工夫（行きたくなる・借りたくなる仕掛け）が多く、参加者からは、地域との連携（公共図書館・美術館）による読書生活の仕組みづくりが羨ましいという声もあった。

【講演会】

棟田先生の講演では、松川村の取り組み、村の図書館とちひろ美術館、小中学校図書館との連携や、図書館の役割の広がりについての話が興味深く、図書館運営についての知識を広げる内容で、今後の活動に活かせそうとの声が多くかった。また、デジとしょ信州（デジタル図書館）の導入・運営に関する話題では、小中学校での活用への意欲が見られた。



【情報交換会】

グループに分かれて各校の実践を紹介した。豊科東小の取り組みでは、図書館だよりを通じた工夫が参考になった。デジとしょ信州の活用法（蔵書点検中の読書支援など）についての具体的なアイデアや、各校の成功事例や実践、困りごとを共有できる貴重な機会だった。